

ツキノワグマから見た 人間社会の様子

～「無意識の餌場」を
つくっていませんか?～

人間は気づいて
いないけれど、ぼくたちに
ごちそうをくれる「餌場」が
たくさんあるんだなあ。

人間のまわりには、ぼくたちをひきよせる「餌」がいっぱい!

1 ごみの放置・管理不足



ごみステーションの袋がやぶれて
いたり、ふたが開いていると、
生ごみのニオイにつられてやってくる。

2 家庭菜園や果樹の実



カキヤクリ、果物の実がなると、
とてもいいエサになる。
畑のやさいもねらわれることがある。

3 ペットフードの放置



ペットのエサが外に置きっぱなし
だと、ぼくたちにとってのごちそう
になる。

4 コンポストや生ごみ 処理機のニオイ



生ごみやコンポストのニオイは、
遠くまでとどく。
おいしいものが入っていると、
何度も来てしまう。

5 収穫残さや廃棄野菜



畑に残った作物や、すてられたやさいは、
ぼくたちにとってかかれたエサになる。

6 人の食べこぼし・残飯



バーベキューのあとや、キャンプの
ゴミに残った食べ物は、ぼくたちを
ひきよせる。

7 はちみつ・甘いもの



はちみつやジュース、お菓子の容器など、
甘いものはとくに大好き!

8 ガソリンやベンキ



山の中にながソリンやベンキなどの
匂いがすごく好き。近くでもっと
嗅ぎたくなる。

クマにとって「餌場」がふえると...

- 何度も同じ場所に来るようになる。
- 人の生活エリアに近づくようになる。
- 人とのトラブルが増えてしまう。



クマが悪いのではありません。
問題は、ぼくたち人間の行動です。

ぼくたちも安心してくらせるように、できること!

ごみは 正しく出す



ふたつきの容器を使い、
収集日やルールを守ろう。

果樹ややさいは 管理する



実は早めに収穫する。
残さはそのままにしない。

エサを外に 置かない



ペットのエサや食べ物を
外に置きっぱなしにしない。

コンポストは 工夫する



ふたをしっかりしめたり、
ニオイ対策をしよう。

自然を 大切にする



山や森はクマのすみか。
ルールとマナーを守ろう。



ほくたちの
住む場所に
入ってこないでね。

クマと出会わないために



1 草が多い場所に注意

- 寄り道しない
- 友達と一緒に行動する
- ひとりで山・川・林に近づかない
- 朝と夕方の薄暗いときは特に注意



草や木が多いと、クマに
気づかれず、クマもあなたに
気づかないことがあるよ。



クマ注意



2 音を出しながら歩く (クマ鈴・話し声・手をたたく・ラジオ等)

音が出ると、クマは人がいることに気づいて、
近づかないことが多いよ。



クマ鈴をつける



話し声を出す



手をたたく



ラジオなどを鳴らす



ルールを守って、クマと人が安全にすみ分けられる自然を大切にしよう!

クマと出会ったら



びっくりすると
お互いに
あぶないんだ…

3 突然目の前に現れて、こうなるとクマはびっくりして、 間違っって襲ってしまうよ。



大声をだす



走って逃げる



子グマを見て近づく



写真を撮ろうとする



餌をあげようとする



大声で追い払おうとする

4 会ったら、クマから目をそらさずに、ゆっくりと後ろに下がる。

- さわがず、落ち着いて。
- クマを刺激しない
- 背中を見せずに、
ゆっくり後ずさりするよ。



クマは本来、おとなしくて臆病な動物。
人をおそうことはほとんどないよ。